



諫高だより

ふじ むらさき
藤 紫

長崎県立諫早高等学校

〒854-0014 諫早市東小路町1番7号

TEL 0957(22)1222 FAX 0957(22)5104

http://www.isahaya-highschool.ed.jp

諫高の夏、さわやかな夏

校長 石部 邦昭

アメージング・グレイス

幕が開くと、会場から「ウォー」という歓声が上がった。中学生に対する本校説明会でギター・マンドリン部が壇上に勢揃いし幕が開いた瞬間である。総勢60人を超える凛々(りり)しい姿の諫高生が静かに「アメージング・グレイス」を奏でる。思わず目頭が熱くなった。この曲は、急性骨髄性白血病で38歳の若さで他界した本田美奈子さんの澄んだ歌声とだぶるからである。今でも多くの人が彼女の死を惜しみ、ロズさんでいる。

諫高生の演奏が終わると中学生から大拍手が起こった。本校の演奏は、中学生の琴線に触れた。「生きることと希望を持つこと」演奏を聴きながらそう思った。

「焚(た)くほどは風がもてくる落ち葉かな」

私の好きな歌の一つである。作者は江戸時代の僧、良寛。時の長岡藩主が良寛の人柄に魅せられて、わざわざ彼を訪ね、このような田舎のわび住まいをやめて、自分の所へ移って来て欲しいと言ったとき、良寛は「今の住まいで十分でございます」として上記の歌を詠んだ。権力におもねない良寛のいさぎよさに心をうたれる。最近の世の中の風潮は、ある面では、欲の固まりのようなどころがあって、焚く以上に落ち葉を集めて最後は大火事になっている気がする。金銭欲、独占欲、権力欲等。度を過ぎた欲望が数々の事件を起こしている。「足るを知る」。このあとリーダーとなることを期待される諫高生が最も心して欲しいことである。「より善く生きる」この夏自分の生き方を模索して欲しい。

団結の力恐るべし。

「一滴の水、それは無力である。しかし、それが岩の裂け目にしみこんで凍る時、それは鉄よりも堅い岩石を砕く力となる。」と言ったのは、アフリカで医療活動と黒人の救済のために活躍したシュバイツァー博士である。水と同じで人間の力は弱くて限られている。しかし、団結することによって、続けることによって段々強大になっていく。多くの人と協力して一丸となって事を成し遂げよう。団結の力恐るべし。また続けることは、物事を成就させる最大の要因である。「本物はつづく。続ければ本物になる」「雨だれ石を穿(うが)つ」(毎日毎日の雨だれも受ける石を窪ませることも出来る)。

続けよう。成功するとは成功するまで続けることだ。

夏に賭ける

諫高生の夏は忙しい。三者面談、授業や特別学習、実力試験、部活の練習・遠征そして1年生と3年生は学習合宿。文化祭や体育大会の準備もある。昔から「夏を制する者は受験を制す」とも言われ、3年生にとって「天下分け目の決戦」とも言われている。

また野球部と吹奏楽部、そしてインターハイの陸上部は総決算の戦いがこの夏にある。諫高の夏、さわやかな夏。希望と笑顔そして粘りで、この夏を乗り切りたいものである。

平成19年度(第59回)長崎県高等学校総合体育大会報告

恒例の県高総体が佐世保市を中心会場として、6月1日～6月4日(一部は6月8日まで)開催されました。本校は、男子170名、女子95名、合計265名が選手団として26球技に参加しました。ほとんどの体育部の生徒にとって、最後の大会に、3年間の練習の成果を思う存分発揮し、大活躍しました。また、応援に参加した生徒も競技する本校生徒に、一生懸命声援を送り、活躍を支えてくれました。きっと、心に残るすばらしい大会であったと思います。多くの保護者の皆様にも応援にご参加いただき、生徒も心の支えになったものと思います。

なお、今回の成績については、団体3位以内及び上位大会進出者の個人成績は、下に記載して

いるとおりです。各チームや個人が今後の手応えをしっかりとつかんでおります。秋の新人大会や来年度の高総体では、今年以上の結果が期待できると思いますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

また、野球部の甲子園予選や堂々と入場行進する本校選手団



11月に小浜町で開催される駅伝競技についてはこれからしっかりと調整して、全力を尽くすと選手全員が頑張っております。

- *《 団体3位以内 》*****
- * 陸上競技女子総合 3位 *
- * ソフトボール男子 3位 *
- * フェンシング男子 2位 *
- * フェンシング女子 2位 *
- * 弓道男子 2位 *
- * (九州大会出場) *
- *****



準優勝の弓道男子チーム (県立武道館)



←開会式で応援する応援リーダー (佐世保市総合グラウンド)

*《 個人上位大会進出者のみ 》*****
 * ●陸上競技 ●フェンシング *
 * 男子1500m 第2位、4位 女子フルーレ 第4位 *
 * 男子 800m 第5位 女子エペ 第2位 *
 * 男子5000m 第1位、2位、5位 *
 * 女子走高跳 第5位 ●水泳 *
 * 女子1500m 第1位、2位、4位 男子200m個人メドレー 第6位 *
 * 女子走幅 第3位 *
 * 女子 800m 第3位、4位 ●剣道男子 第3位 *
 * ※北九州大会(6月14日～17日)の結果 *
 * 男子5000mと女子走高跳が ●弓道男子 第3位 *
 * インターハイに出場 *



↑
力走する陸上女子の選手

バレーボール部の活躍ぶり
↓ (西海学園高校体育館)



↑
大声援を背に奮闘する
バスケットボール部
(本校体育館)

第1回学校説明会を開催しました

平成19年度第1回の学校説明会を6月23日(土)に、諫早市文化会館で開催しました。前半は本校の教員が、学校全体のこと、理数科のこと、進路指導についてそれぞれ説明しました。休憩を挟んで、後半は理数科の探求活動の発表や普通科・理数科の生徒による学校生活についての意見発表とギター・マンドリン部の歓迎演奏や応援部の激励エールを行いました。昨年までは、5月中旬に実施してきました説明会を中総体終了後のこの時期に実施したことにより、参加者が約600名(昨年350名)にのぼり、受付が混乱することがありましたが、大盛況の中で終了することができました。参加した中学生には、諫早高校の良さを理解していただいたものと思っております。第2回の学校説明会は、10月6日(土)に学校で開催します。来年度の高校入試や体験授業、部活動の見学などを予定しています。



↑ 歓迎演奏するギター・マンドリン部(諫早市文化会館)

本校生徒がボランティアとして参加

—第7回長崎県障害者スポーツ大会—

去る5月27日(日)に開催された第7回長崎県障害者スポーツ大会(長崎県、長崎県障害者スポーツ協会主催)に、本校生徒がボランティアとして参加し、大会の成功に貢献しました。県立総合運動公園陸上競技場で行われた陸上競技には、陸上競技部員10名が参加し、裏方として器具の準備などの業務に従事しました。また、小野体育館で行われた卓球には、卓球部、生徒会総務、ソフトテニス部の生徒15名が参加し、競技の補助を行いました。

本校では、情操の陶冶として「社会の一員としての自覚を持たせ、公共の福祉と社会の発展に貢献させる」ということを努力目標として、機会ある毎にボランティア活動に参加するように指導しています。



小野体育館で、卓球競技の補助をする本校生徒